

鹿児島県漁海況週報

平成23年6月30日発行(6月23日～6月29日)
第2410報【旧暦：5月22日～5月28日/月齢21.2～27.2/潮汐：小潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL: 0993-27-9212, FAX: 0993-27-9218
HP: <http://kagoshima.suigi.jp/>

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

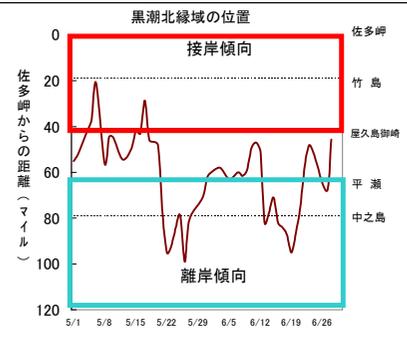
黒潮北縁域は6月28日現在、屋久島御崎の南4.6マイル付近にある。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は6月28日現在、39マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、中之島、与論で0.2～0.9℃降温し、その他の海域で0.1～3.8℃升温した。
 平年比較では、鹿児島で“著しく高め”、甌海峡で“かなり高め”、屋久島御崎で“やや高め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.1	+0.1	+0.2	平年並
鹿児島	26.7	+3.8	+2.5	著しく高め
佐多岬	24.6	+2.0	+0.3	平年並
竹島	24.5	+0.5	-0.6	平年並
屋久島御崎	26.7	+2.5	+1.0	やや高め
中之島	27.6	-0.2	+0.2	平年並
笠利崎	26.7	+0.6	-0.3	平年並
与路島	26.5	+0.2	+0.4	平年並
与論	27.0	-0.9	+0.0	平年並
甌海峡	25.6	+3.2	+1.5	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は6/29
串木野一甌定期客船観測は6/29

【漁況】

○定置網

甌海域では、ハガツオ(400～500g)が200kg/日、マジン仔・サバ仔混じりが3トン/日の入網。西薩南部海域では、ハガツオ(600～700g)が400～500kg/日、シイラ(2～3kg)が1トン/日、イサキ(300g)が40～50kg/日、アカマス(150g)が150kg/日、ウルメイワシ、マイワシ仔、マアジ仔混じりが500～700kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マイワシ仔・ウルメイワシ仔混じりが1日のみ2トン、週計でキハダ(3～5kg)が20尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で56統がサバ仔、ウルメイワシ仔、チダイ主体に125トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマジン、チダイ、ハガツオ主体に14トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌海域では1～10箱/隻・日の漁。西薩南部海域では5～6箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では3～5箱/隻・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

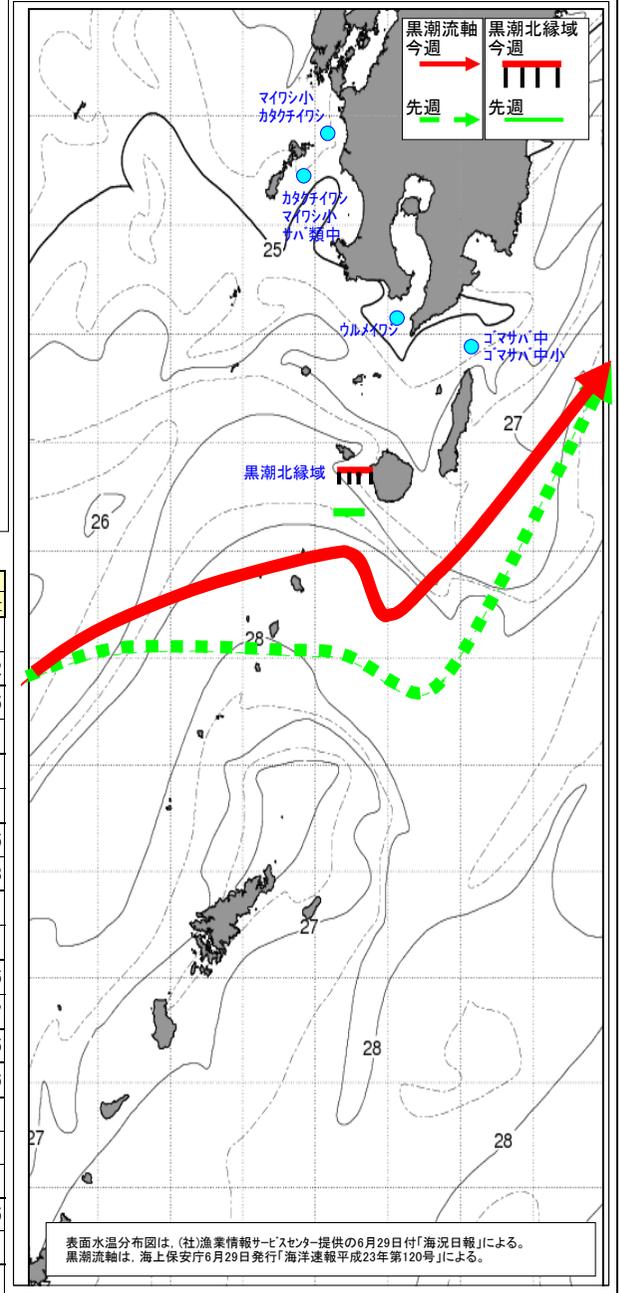
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2362報)							
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量			
旋網	阿久根	大	1	19	甌東	マイワシ中35	ウルメイワシ30	カタチイワシ17	18.8	0	—	0	—
		中	8	113	川内沖 甌東	マイワシ小46	カタチイワシ32	サバ類中6	14.2	4	47	13	72
	枕崎	大	2	46	種子島北	ゴマサハ中小87	ゴマサハ中9		23.1	0	—	5	225
		中	6	151	種子島北 立目崎沖	ゴマサハ中45	ゴマサハ中小36	ウルメイワシ13	25.2	2	15	16	221
	内之浦	中	0	—					—	0	—	0	—
	山川	中	0	—					—	0	—	0	—
計	大	3	65					21.7	0	0	5	225	
	中	14	265					18.9	6	62	29	293	
東海旋網	阿久根	0	—					—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—					—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	23	26	阿久根沖 長島	マイワシ小49	カタチイワシ22	ウルメイワシ15	1.1	5	2	64	55	
	内之浦	2	9		ウルメイワシ100			4.5	0	—	5	7	
定置網	内之浦	56	125		サバ仔22	ウルメイワシ22	チダイ19	2.2	54	73	59	35	
刺網	阿久根	大	0	—				—	0	—	0	—	
		小	1	26	カツオ小89	キハダ6	メバチ5	25.5	0	—	0	—	
カツオ平釣・海外旋網	海旋	1	810		カツオ中76	カツオ大15		809.9	1	678	0	—	
	山川	中	0	—				—	4	56	2	5	
	海旋	0	—					—	1	721	0	—	
	瀬戸内	小	—	—				—	—	—	—	—	

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、小トビを20箱/統、中トビを20～30箱/統の漁。屋久島海域では、小トビを3箱/統、中トビを9箱/統、アトビを23箱/統、セトビを112箱/統の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でチダイ(100～200g)を20kg/隻・日、かごでサバフグ(200g)を300kg/隻・日、刺網でチダイ(200～300g)を10～20kg/隻・日、曳縄でサワラ(1kg)を10尾/隻・日、ハガツオ(700～800g)を5尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、一本釣でゴマサハ(600g)を30～40kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでゴマサハ(600g前後)を80～100kg/隻・日、素潜りでトコブシ(7～8cm)を2～3kg/人・日の漁。奄美海域では、一本釣りで好ウオ(1～2kg)を10～20尾/隻・日、トビイカ(100～200g)を15kg/隻・日、曳縄でキハダ(1.5kg)を30～100kg/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月29日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁6月29日発行「海洋通報平成23年120号」による。